

カトリック河原町教会だより

2014年2月

2014年度部会責任者

2014年度各部会責任者は次のとおりです。

各部会への登録制度が今年度から変更になっています。教会活動に参加の方は登録用紙に記入のうえ、受付または事務室に提出してください。登録用紙は聖堂入り口の机の上、教会受付にあります。

| 部会 | 部長 | 副部長 |
|-------|--------|--------|
| 典 礼 部 | 岡田 亨 | 杉本 誠一郎 |
| 教 育 部 | 奥埜 さと子 | 中野 博彦 |
| 財 務 部 | 倉狩 弘美 | 梅原 けい子 |
| | | 岩田 啓子 |
| 広 報 部 | 樋口 リサ | 中山 史江 |
| 施設管理部 | 栗山 准 | 松谷 博幸 |

※広報部責任者は1月12日の広報部会で選出されました。

日本 26 聖人殉教者顕彰・

高山右近列福祈願ミサ

2014年2月2日(日) 午後3時

カトリック河原町教会 司式 大塚 喜直司教

待降節黙想会

2013年12月21日(土)午前10時から河原町教会聖堂で待降節黙想会が行われました。参加者は約70名。指導司祭は阿部仲麻呂神父様(サレジオ会)。「キリストの光に照らされて」というテーマで、午前の部で第1講話と個人黙想、午後の部で第2講話と個人黙想が行われ、待降節のひと時を静かに黙想しました。個人黙想の時間にはゆるしの秘跡に与ることもでき、3時からミサが捧げられました。

昨年7月5日(金)に公表された教皇フランシスコの最初の回勅『信仰の光』(Lumen Fidei)について触れられ、回勅の意味するところを語られました。



キリストに出会うための旅

私たちはそれぞれ与えられた命を、旅をしながら生きています。神との一致に向かって、イエス・キリストに出会うために旅をする旅人です。今日の福音(マタイ2・1-12)に登場する占星術の学者は、イエスに会うために旅を続けてきました。しかしながら、この学者たちは、いつどこでイエス様に会えるかどうかという明確な答えを持っていたわけではありません。どこにいけばイエス様に会えるのかは誰もわかりませんでした。

今を生きる私たちも同じです。私たちは世界の人々と一緒に、イエス様を探して旅をしています。

私たちの日々の生活では、昼間の明るいところだけを歩いているわけではありません。



現実には暗闇の苦しみの中を歩いています。この苦しい暗闇にいるからこそ、星が輝いて、イエス様へと導いてくれるのです。明るい部分にいる時ではなく、人生の暗い部分の大変な時にこそイエス・キリストに導かれます。暗闇は決して怖くはありません。希望の暗闇です。星に導かれてイエス様に出会った後は、自分の所に戻ってください。しかし、イエス様と出会った後は、来た道とは違う道を歩むことになります。違う道を歩むということは、「新しい生き方へ変わった」ということです。主の公現はイエスに出会う旅をすることです。

1月5日の一場修神父ミサ説教より

クリスマス市民の集い



みことばの祭儀 一場修神父



独唱 東 朝子



聖歌隊と一緒にクリスマスキャロル



イエス様の誕生を祝う

インタビュー

継続は力

主と共に

ヨゼフ 瀧野 徳太郎さん

瀧野徳太郎さんは1917年(大正6年)1月19日生まれ、97歳。瀧野正三郎司祭(司教総代理)は三男です。

■元気の秘けつ

一昨年9月まで、月に一度、主日のミサの朗読奉仕を続けてきました。歳も歳ですので後輩に譲ることにいたしました。わたしの元気の秘密は「か・き・く・け・こ」……感謝・勤労奉仕・空想(希望)・継続・向上心をもって日々を生きることです。何事も人頼みにしないで、できることは何でも自分です。内に引きこもらず、何事も前向きに捉え、人と交わり、愉快地語り合う……そして、謙虚に生きる。これがこれまでの私の生き方です。

ええ加減に休んだらどうや」と言われました。「なんぼええことでも、熱中しすぎたらあかん」という神の声だったように思います。信仰一筋だけではいけない、社会とともに歩まなければならないことに気付かされました。それからは外に目を開き、自分自身の教養を高めるためにシニア大学に29年間通いました。さまざま分野で活躍する専門家たちに学び、また奉仕の心で、種々の会のお世話役を引き受けました。この歳になった今も、信仰はもちろん、社会勉強や仕事に励んでいます。生涯現役が私の Motto です。



■神が共にいて下さる

神より啓示を受け、力をいただいて前向きに進んでまいりました。神は人間には計りしれない、想像もつかないことを一人一人に呼びかけておられます。その声を聞き分けることができるよう祈り続けます。

一本の苗木から酔芙蓉を育て、13年になります。降り注ぐ太陽と雨水の恵み、植物の成長の力という大自然のエネルギーを全身に浴びて、神に感謝の日々を過ごしています。



■継続は力

今、振り返って、私のこれまでの人生で大事な、と思うことは、「継続」です。今から50年前に洗礼を授かりましたが、先輩たちに負けないように、キリスト者として信仰を深めたい一心で、受洗後は一日も欠かさずにミサにあずかり続けました。受洗から20年たったところに、古屋司教様から「瀧野、

■二〇一四年度役員と部会責任者

(役員氏名 役割・担当部会)

岩間 恵世 ブロック担当・典礼部
神谷 隆 評議会議長・教育部

李家 隆美 評議会書記・施設管理部
越知 謙之助 教区連絡担当・財務部

工藤 由紀子 規約担当・広報部
(部会責任者氏名 部長・副部长)

典礼部 岡田 亨・杉本 誠一郎
教育部 奥埜 さと子・中野 博彦

施設管理部 栗山 准・松谷 博幸
財務部 倉狩 弘美・梅原 けい子

広報部 一月度広報部会で選出
・岩田 啓子

■報告事項

(一) 司祭団より
①第二バチカン公会議の精神の実現を目指し公会議文章の勉強会を進める。
②教会外周フェンスの塗装、補修を行う。
③祭壇横オルガンをローランド社のデジタルオルガンに変更する。

(二) クリスマス関連行事の報告

①クリスマスチャリティコンサート売り上げ金二十五万六千円は東日本大震災復興支援として京都教区サポートセンターに寄付。

②クリスマス市民の集いの献金七万八千八百五十一円は京都新聞社会福祉事業団に寄付。アンケートは百十一枚を回収した。

(三) 各部報告

典礼部 日曜日午前、午後の受付担当者が決まった。ご協力よろしくお願ひします。

河原町教会一月評議会報告要約
開催日 一月五日(日)